

小田原市が
めざす子どもの姿像

未来を創るたくましい子ども

教育指導の重点（めざす姿）

社会力の育成

学ぶ力

豊かな心

健やかな体

関わる力

基本姿勢

誰一人取り
残さない学びの推進

地域資源を生かした
学びの推進

官民連携による
学びの推進

円滑な接続

こんな幼稚園に！
＝めざす幼稚園像

元気、笑顔があふれる学びの多い幼稚園

＊『全体的な計画』を活用した保育の実践

こんな先生に！＝めざす教師像

・教育への熱意をもった教師
・豊かな人間性を備えた教師
・組織人として機能する教師

＊全職員で見取りを共有し、環境と援助を探る
＊子どもと一緒に環境をつくる
＊職員間の連携を深める

こんな子どもに！＝めざす子ども像＝教育目標

★重点目標

＊具体的な取り組み

や優しい心をもって、
様々な人や身近な
動植物に関わる子

★地域や様々な人と関わりをもつ
＊異年齢との関わりの方会の保障
★地域の環境を遊びや生活に活用
したり、利用したりし、社会と
のつながりを意識する
＊地域資源を活用した保育の充実
★家の人やボランティアとの関わり
を深め、感謝の気持ちをもつ
★身近な動植物との接し方を考
え、大切にする気持ちをもつ
＊栽培活動の充実

は話をすることや聞くことの
楽しさを感じ、言葉を使って
思いや考えを表現する子

★話すこと、聞くことのおもしろさ
を感じ、楽しむ
＊会話を楽しむ活動の保障
★絵本や物語等に親しみながら、豊
かな言葉や表現を身に付ける
＊絵本活動の推進
（絵本屋・図書コーナー整備）
★あいさつをすすんでする
＊あいさつ当番活動

ぎ疑問や興味関心もち、遊びや
活動に挑戦し、友達と一緒に
最後までやり遂げる子

★身近な環境に主体的に関わり様々
な活動を楽しむ
★友達と共通の目的に向けて考えたり、
工夫したり、協力したりし、
充実感をもってやり遂げる
★友達と折り合いを付けながらきまり
をつくったり、守ったりする
＊幼児の主体性を尊重した援助と環
境を探る
＊やはぎっ子げんきっ会への取組

★基本的生活習慣を身に付ける（おだわらっ子の約束の周知・実践）
＊個に応じた指導の工夫 ＊家庭との連携を図る

指導の方針

- 1 遊びを中心とした生活を通して、一人一人の幼児の発達やその子らしい行動の仕方や考え方などを理解して、それぞれの特性や発達に応じた総合的な指導を行う。
- 2 2年間の園生活の中で、幼児の主体的な活動が十分確保されるようにすると共に、豊かな体験の中で発見したり、試行錯誤したりし、学ぶ力の基礎を培う。
- 3 幼児が共に過ごす楽しさを味わったり、互いに影響し合ったりする等、集団のもつ教育力を十分に活かすことによって、発達が促されるようにする。
- 4 園と家庭との信頼関係を基盤に互いの役割を見直し、連携を取り合って、教育効果を高める。
- 5 小学校教育との円滑な接続を図り、幼稚園の教育の成果が小学校へつながるようにする。
- 6 地域との連携を広め“地域の中の幼稚園づくり”を推進する。
- 7 子どもの人権、個人情報や危機管理に対する意識をもって保育に当たる。

<令和7年度 矢作幼稚園 グランドデザイン>

小田原市がめざす子ども像

これからの変化の激しく、先の見通しの不透明な社会を生きていく子どもたちは、それぞれが持つ可能性を最大限に発揮し、自分たちの社会を自ら創っていくたくましさを身に付けることが必要です。そのため『未来を創るたくましい子ども』とし、社会力の育成を図れるよう教育環境を整えます。

【社会力の育成】子どもたち一人一人が充実した人生を送り、より良い地域社会を創るために『学ぶ力』・『豊かな心』・『健やかな体』・『関わる力』を育みます。

子どもの育ちを支える姿勢

小田原市では「誰一人取り残さない学びの推進」「地域資源を生かした学びの推進」「官民連携による学びの推進」を基本姿勢としています。

めざす幼稚園像

「元気、笑顔があふれる学びの多い幼稚園」初めての集団生活となる幼稚園で、自分らしさを発揮しながら、のびのびと楽しく生活できることが大切と考えます。その中で、遊びを中心として、頭も心も体も動かして、主体的に対象と関わりながら、総合的に学んでいきます。

めざす教師像

教職員一人一人が自己研鑽すると共に、互いに学び合い、高め合いながら、それぞれの資質・能力の向上を図り、子どもの学びと育ちを一番に考える意識の高い教師集団を形成します。「子ども一人一人を信じ抜き、責任感をもつと共に、教師の仕事に対する誇りや情熱を持っている教師」「常に、子どもの人格形成に関わっているという意識をもち、社会性や対人関係能力等の資質を備えている教師」「教育のプロとして、子どもの将来を見据え、保育力を磨くと共に、社会の変化や様々な課題に対応できる指導力を備えている教師」を目指します。

※職員間で話し合ったり、記録で伝え合ったりして、遊びや子どもの理解を深め、環境援助を進めてきました。子どもから見て、いろいろなことを実現するために力を貸してくれる魅力的な教師でありつつ、子どもの思いを一番に考え見守れる教師でありたいと思います。

めざす子ども像＝教育目標

小田原市が目指す子ども像へと成長していくよう、「や・は・ぎ」っ子の育成を目指していきます。

令和7年度の★重点目標 と ＊具体的な取り組み

※昨年度の反省をもとに見直しをしました。

【めざす子ども像＝教育目標から捉えた矢作の子どもの姿】

<優しい心をもって、様々な人や動植物に関わる子>

やさしい心が育まれ、身近な動植物や自分を取り巻く人にも関わっていくことができました。関わることで、やさしさがより育まれて繰り返されていくと思われまふ。一方で、友達に優しく接することができている姿はあるが、相手の思いを聞くことが難しいという意見もありました。昨年度、少子化や様々な影響により、園児数が減少しているため、人との関わり方を、まずは身近な園内（4歳児5歳児）の異年齢の関わりから始め、そこからさらに深めていかれるようにしたいと考え、次の点を加えましたが、さらに関わりが深まるような取組を考えていきたいと思ひます。また、遊びが膨らみ、地域の商店に見学させていただくことを経験したことで、さらに遊びに広がりや深まりを実感しました。豊かな地域資源をもっと活用していきたいと考えました。

★地域や様々な人と関わりをもつ ＊異年齢との関わりりの機会の保障 ＊地域資源を活用した保育の充実

<話をすることや聞くことの楽しさを感じ、言葉を使って思いや考えを表現する子>

担任以外の先生にも表現できるようになる様子も見られるが、思いをもっていると言えない子、自信のない子がいました。また、個人差が大きいですが、友達には表現できる、集まりの場面なら表現できる等、それぞれの姿が見られました。個人差はあるが、一人一人、自分なりの成長は見られたので、安心して表現できる場づくり、環境づくりが大切であると考えました。昨年度同様に推進していきます。

<疑問や興味関心をもち、活動に挑戦し、友達と最後までやり遂げる子>

遊びの中での疑問を大切にすることで、子どもたちも疑問を解決するためにいろいろな方法で挑戦する姿が見られました。また、遊びの中で、興味関心を深めたり、疑問をもったり、実際に試したり、挑戦したりする姿や鉄棒の逆上がりや短縄跳び、長縄跳び、コマ回しなどに挑戦し、最後までやりとげようとする姿が多く見られました。昨年度同様に推進していきます。

◆おだわらっ子の周知・実践に力を入れていきます。

指導の方針

矢作幼稚園の教育・保育を進めていく上でのやり方・姿勢を示したものです。

◎昨年度の幼児の姿の課題から、今年度の研究のテーマとして『幼児の主体性を育むための教師の資質向上』サブテーマを「幼児が遊び込むための環境援助について考える」とし、研究を進めていくようにした。